

五先賢の館

この博物館は、長浜で生まれた「五賢人」の業績を祝います。賢者(僧侶、画家、武士、茶人、詩人)はさまざまな時代に生き、さまざまな分野で活躍しましたが、彼らは皆、日本の歴史と文化に顕著な貢献をしました。

武士・片桐且元が所有していた仏神観音像などの身の回り品や、修行をする僧侶が身に着けている白い巡礼者の衣装(白装束)などの品が展示されています。付随するパネルは日本語で書かれており、海外からの旅行者は、資格を有する地域通訳士を同伴すると、最も訪問を楽しむことができます。

長浜の五賢は、

- ・相応和尚(831-918)。比叡山の過酷な 1,000 日間のウォーキング巡礼である回峰行を含む苦行で知られていた僧侶。
- ・海北友松(1533-1615)。狩野派の画家であり、後に独自の画風を開きました。簡素な水墨画から金箔で飾られた豪華な風景まで、その作品は多岐にわたりました。
- ・片桐且元(1556-1615)。大名豊臣秀吉(1537-1598)の家臣であり、1583 年の賤ヶ岳の戦いで頭角を現した名将。
- ・小堀遠州(1579-1647)。徳川家光将軍(1604-1651)に茶道を教えた有名な茶の達人であり庭師。
- ・小野湖山(1814-1910)。明治天皇(1852-1912)によって個人的に認められた中国の古典詩の作品で知られる詩人。